

クラスターの発生を防ぎましょう

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためには、クラスターの発生を防止することが重要です。

これまで本県では次のような状況・場面でクラスターが発生しました。また、国の分科会では、「感染リスクが高まる『5つの場面』」を提示しています。

こうした状況・場面では、感染リスクが高いことを意識し、できるだけリスクを下げる工夫をしていただくことで、クラスターの発生を防ぎましょう。

栃木県でクラスターが発生した状況・場面

状況	場面
<ul style="list-style-type: none">・換気が悪い密閉空間・狭い環境・多数が集まる密集場所・マスク未着用での密接場面での会話・体調不良時に出勤	<ul style="list-style-type: none">・飲食・集会・ホームパーティー・職場のバックヤード

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



クラスターの発生を防ぐための対策

【県民】

- ・3密を避けるなど基本的な感染防止対策の徹底
- ・「感染リスクを高めやすい場面」での感染に注意
- ・体調が悪い場合は外出を控える

【事業者】

- 特に、更衣室や喫煙所等のバックヤードにおける対策について、再点検を実施

